農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

由布市長 相馬 尊重

市町村名 (市町村コード)	大分県由布市 (442135)	
地域名 (地域内農業集落名)	影戸 (影戸)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年2月20日 (第2回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

中山間組織の役員が中心となり経営している。その他の農業者は後継者がいない状況である。地域内で主に栽培している作物は米である。現在取組を行っているものは鳥獣被害防止対策、農地の保全・管理である。地域が抱える課題として農業者の高齢化、農業にかかる経費の増加、農家収入の低下、新規の担い手不足、鳥獣被害の増加、有害鳥獣の駆除人材の不足が挙げられる。その他挙げられる課題として、狭小農地での非効率な耕作と農業用水路の管理である。これらの課題の原因や理由として主に挙げられるのは鳥獣被害の増加で水稻の耕作が出来ないこと、狭小農地・高齢化で担い手が不足し、すべてが悪循環となっていることである。
主な作物: 米

(2) 地域における農業の将来の在り方

地域の中心となる経営体に積極的に集積すること、減農薬、化学肥料削減を行い環境保全型農業に取り組むこと、有機や無農薬栽培など環境に配慮した農業技術を導入すること、センサー、ロボット、人工知能など新技術導入で効率化を図ること、担い手確保のため地域で新規就農希望者と交流を図ることを目指す。また、都会で生活している定年者との農業交流に取り組む予定である。
また地域の所得向上に向け、トウガラシ等への転換に取り組んでいる。今後は、米から野菜への転換、有機農業の導入、加工品の製造、作物のブランド化、企業による農業参入、法人の強化・集積、新しい技術の導入、水、エアの浄化に取り組みたいと考えている。その他、都会との交流菜園などに取り組みたいと考えている。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	21.6 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	21.6 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
<ul style="list-style-type: none"> ・中山間組織の役員を中心となる経営体として位置づける。今後離農者が出た場合は、中山間組織を中心に農地の集積や有効利用を図り、耕作放棄地にならないよう農地の保全に努める。また、一人で多くの農地を耕作出来ないため、多くの人で耕作する方法を検討したい。 ・農用地の集積、集団化を進めるため、農地の整備、用水路管理のドローン化、協調して取り組めるよう、集落ごとの交流に努める。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
<ul style="list-style-type: none"> ・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける。
(3) 基盤整備事業への取組方針
<ul style="list-style-type: none"> ・既に基盤整備を行っている部分があるが、今後も取り組みたいと考えている。 ・R2/7/7の大雨の後にがけ崩れを起こした場所など、緊急の所は整備されるが、トン袋や黒色の土のう袋など配布してもらい地域で補修できる分は地域で修理したいと考えている。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> ・ゆふ農林業サポート人材バンクとも連携して確保・育成を進める。 ・管理してくれる方と連携を取りながら進める。 ・基盤整備をして新規就農しやすい環境作りをする。 ・広報紙やスマホのページで紹介するなど、経費をかけずに交流の機会創出に取り組む。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
農事組合法人に委託している。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組方針】				
<ul style="list-style-type: none"> ①防護柵の点検・修繕等の管理をする。 ⑦引き続き中山間事業を活用し、管理を行っていく。 				